SDGs 持続可能な開発目標

持続可能な世界へ——国連との取り組み

ピースボートは国連とともに持続可能な世界を実現するための取り組みを行っています。貧困や格差、気候変動対策を含む環境・エネルギー問題など幅広い分野の、17のゴールと169のターゲットから成り立つ持続可能な開発目標「SDGs」の達成を目指し、船旅を通して世界にさまざまなメッセージを届けています。

SDGs公式キャンペーン船

2016年8月に出航した「地球一周の船旅」から船体にSDGsのロゴマークをペイントし、SDGs公式キャンペーン船に。船内では国連関係者を含む多様なゲストを招き世界の問題解決への理解を深める活動を行っています。

平和の「創り手」を育てる地球大学

国際社会への理解を深めグローバルな視点を身につける洋上大学プログラム。寄港地での現場体験と洋上ゼミを組み合わせたカリキュラムの下で、NGOや国際機関などの各分野で活躍する人材育成を目指しています。

インターナショナル・スチューデント

世界中の若者がつながり、平和、貧困、環境問題などの地球規模の課題に取り組むために、アジア、アフリカ、中東、ヨーロッパ、ラテンアメリカなど各地から若者たちを船に招き、国境のない洋上だからできる交流と対話の場をつくっています。

PEACE&GREEN BOAT

「平和で持続可能なアジアの未来」を目指し、2005年から韓国の「環境財団」と共同でコーディネートする日韓クルーズ。日韓双方の参加者が寄港地プログラムや船内生活をともにし、交流しながらアジア各地をめぐります。

歴史認識と和解

1983年にピースボートがアジアへ船を出すきっかけになったのは歴史教科書問題。過去の戦争を見つめ、未来の平和を築くために、戦場となった現場をめぐり、市民レベルでの国際交流と対話を続けています。

国際教科書会議

UPA国際協力プロジェクト

国と国との利害を越え、人と人とのつながりを

UPAは「United Peoples Alliance」の略。直訳するなら「人びとの連合」となります。国と国の利害関係に左右されない人と人とのつながりをつくることを目的に、世界各地へ「支援物資」を届けています。現地パートナーと協議し視察を行い、必要な物資を国内で募集。現地のニーズと自立を尊重した支援を行っています。

これまでに届けた支援物資

大型客船の特性を最大限に活かし世界各地にさまざまな物資を届けてきました。文房具やスポーツ用品、オーケストラ用の楽器から、車いす（イラク）、カーブミラー（エリトリア）、救急車（キューバ）、トラック（ニカラグア）など多岐に渡ります。

ICAN核兵器廃絶国際キャンペーン

「核なき世界」の実現にむけて

被爆国・日本に本部を置く国際NGOとして、ピースボートは被爆者の方々とともに核兵器の非人道性を世界に訴え、活動をしてきました。2008年の「地球一周の船旅」からこれまでに170名以上の広島・長崎の被爆者の方々が乗船。世界各地で原爆被害の証言を行い、核兵器廃絶のメッセージをアピールしています。

ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）とは?

103カ国532団体※が参加する世界的なNGOの連合体。2007年の発足後、各国政府や赤十字と連携し、核兵器の非人道性に関するキャンペーンを展開。2017年7月の核兵器禁止条約の採択に大きく貢献し、同年ノーベル平和賞を受賞。（※2018年12月現在）

ピースボールプロジェクト

「サッカーは世界をつなぎ、世界を変える」を合い言葉に、日本で使われなくなったスポーツ用品を世界中の子どもたちに届けています。サッカーを通して国境を越えたつながりを築くこと、交流の「架け橋」になることを目的に活動を続けています。

地雷廃絶キャンペーン［P-MAC］

戦争後も残り続け、今も世界中で多くの人びとが被害にあっている地雷。カンボジアやアフガニスタンなどの地雷埋設国で地雷除去を行っている政府機関やNGOとともに、除去活動や被害者の社会復帰を支援しています。

グローバルイングリッシュトレーニング［GET］

旅の時間を使って、洋上での集中レッスンと寄港地での実践トレーニングを行う体験型洋上英会話プログラム。世界約20カ国をめぐる船旅というユニークな英会話環境を舞台に、「グローバル・イングリッシュ」を学びます。

ピースボート子どもの家

差別心も先入観もない幼い子ども時代に世界に出会い、大人も一緒に心から感動できる体験を重ねる。地球一周を通して親子で共に学ぶ体験をできる場が、洋上のモンテッソーリ保育園「ピースボート子どもの家」です。

ピースボート災害ボランティアセンター

人こそができる支援、災害ボランティア

ピースボートの災害救援は1995年の阪神・淡路大震災がきっかけ。以来ハリケーン・カトリーナ、スマトラ沖地震など国内外の被災地で支援を行っています。2011年の東日本大震災からは、一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター（PBV）を設立し、のべ8万人のボランティアとともに支援活動を展開しました。

防災・減災への取り組み

世界各地で発生する自然災害。私たちは「防災」に加え、「減災」も進めていく必要があるでしょう。将来の災害に備え、ボランティア・トレーニングや防災教育の実施など、平時の取り組みを大切にしています。